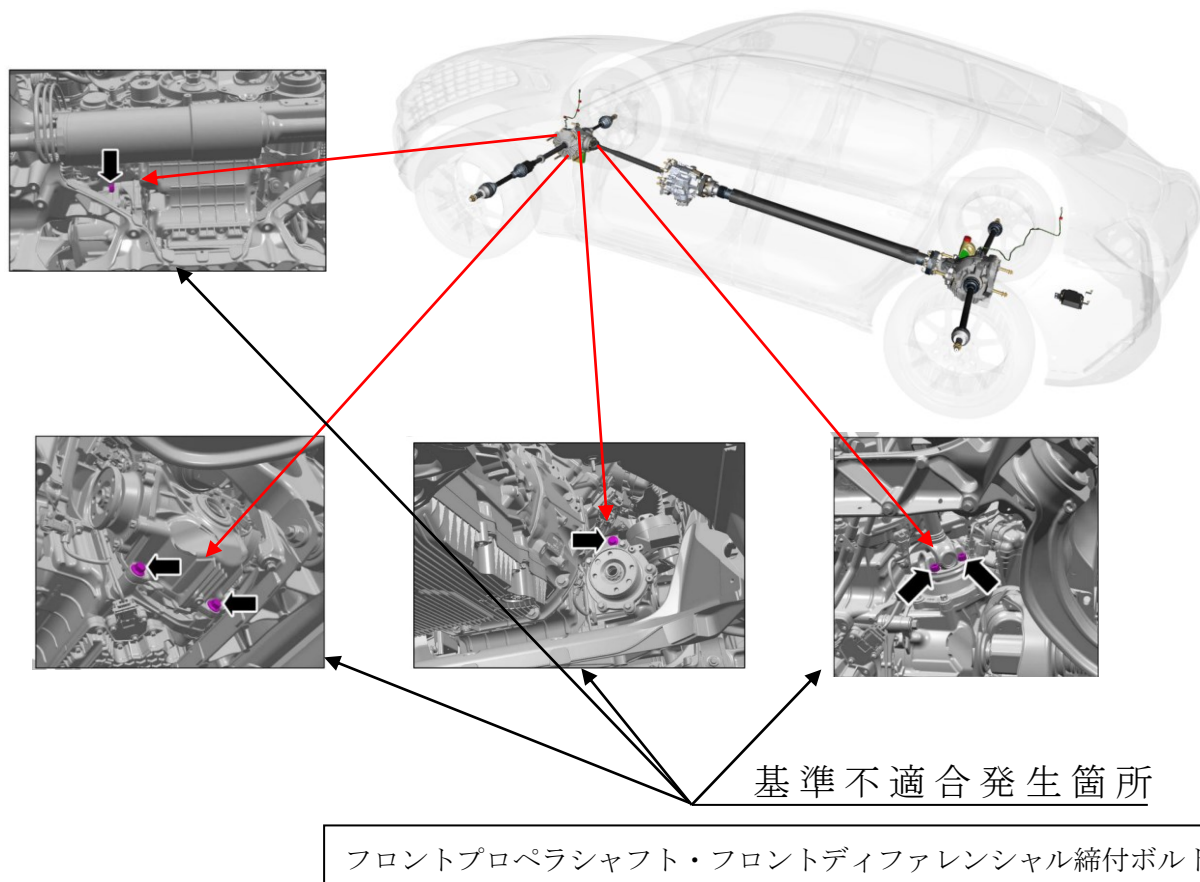


改善箇所説明図



フロントプロペラシャフト及びフロントディファレンシャルにおいて、製造時の作業管理が不適切なため、固定するボルトが規定トルクで締め付けられていないものがある。そのため、当該ボルトが緩み、走行時に騒音や振動が発生して前輪の駆動が喪失する。最悪の場合、外れたプロペラシャフトによりクランクシャフトセンサーが損傷すると、エンジンが停止し再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該締付ボルトを点検し、規定トルクで締付ける。また、当該締付ボルトが損傷している場合は新品に交換をする。

☐ は、改善を施す部位を示す。

識別：車台番号打刻の 5 桁目上部に白色のペイントを塗布する。